モチベーション論レポート

「まとまりのないサークル活動」を読んで

提出日：2017年6月9日

先生：角山先生

学籍番号：16s21015

氏名：熊谷洸介

**本文を読み、リーダーとメンバーの行動と感情を抽出し、このケースの問題点を分析した。**

**行動としては以下が挙げられた。**

・みんな（メンバーが）あんまり動いてくれない（活動の行い方がわからない）

・オレ（リーダー）が一から仕切る（メンバーが自主的に活動していない）

・（メンバーである一年生が）人の話を聞いていない（自主的に活動していない）

・（全体的に）あんまり喋らない（自主的に活動していない）

・（全体的に）スマホいじってばっかりのヤツもいる（自主的に活動していない）

・なんかまとまりがない（自主的に活動していない）

**感情としては以下が挙げられた。**

・（メンバーが）なんか押しつけられてるみたい（不満）（自分のこととして考えらていない）

・（一年生が）活動に不満を持っている（不満）（自分の意見が取り上げられていない）

・（一年生の）アイデアを取りあえげてください（不満）（自分の意見が取り上げられていない）

・そんな決定知りませんでした（不満）（情報の共有の不足）

**以上の結果から、問題点を分析すると大きく分けて3点挙げられる**

・サークル活動の理念の明確化、メンバー間での理念共有ができていない

・企画の出し方がわからない

・情報の共有ができていない

**問題の原因としては以下の3点が挙げられる**。

・メンバーが、サークルの目的（理念）を明確に理解していない。また、賛同していない。

・メンバーが、企画の出し方がわからない

・情報の共有の不足

**リーダーシップ、モチベーションの視点からどのような解決策が考えられるか**

「メンバーが、サークルの目的（理念）を明確に理解していない。また、賛同していない」問題については、1.サークル活動の目的を明確にする。2.メンバーと面談を行い、このサークル活動とメンバーの行いたいことがマッチしているかを確認し、もし違うのであれば脱退を促す。

「メンバーが、企画の出し方がわからない」問題については、企画の出し方をメソッド化し、誰でも企画が出せる環境を作る。

「情報の共有の不足」問題については、会議の議事録を作り、LINEのグループなど、いつでも、誰でも見られる場所で共有を行い、欠席者にも一読を行うように促す。

本文：894文字

以上